

令和2年度 わが家の結いタイム 三行詩コンクール入賞作品

どの作品も情景が浮かんでくるようなすてきな三行詩です。心がほっこりしたり、胸がじんとしたり…ゆっくりとごらんください。



小学校1～3年の部

おじいちゃんを作った野さいを
みんなで食べる日曜日
ああ うれしいな
松尾小学校3年
馬場 心大さん

小学校4～6年の部

「ねえ聞いて！」「あのさー」
「今日ね」3人同時に話し出す
今日も始まるお母さんの争だつ戦
松尾小学校6年
桐生 睦希さん

中学校の部

「もう見送らんでな」
こう私に何回も言いながら
9年間毎朝待つてくれている
ひいおばあちゃん
笑顔で手を振ってくれる姿を
見るのが 私の幸せ
飯田西中学校3年
市村 遥乃さん

一般の部

息子と相撲父の威厳をギリ保つ
下平 和正さん



入選

小学校1～3年の部

玉ねぎになかされた
まげずに作った今日のごはん
「いただきます」「おいしいな」
みんながおだうれしいな
わたしのがんばりかくし味
龍江小学校3年 松尾 早姫さん

一か月は練習したさかあがり
いきなりできた
ぼくもうれしかったけど
お母さんはないてよろこんだ
丸山小学校3年 丸山 純仁さん

ぼくのお父さんはこわいんだ
でもいっしょにおふろにはいる
いっしょにはいるとあつたまる
だからぼくはすきなんだ
丸山小学校3年 湯澤 叶多さん

中学校の部

誕生日「何がほしい？」と尋ねると
「時間がほしい」とつぶやく母
任せてね 今日1日は私が母さん
旭ヶ丘中学校1年 原 澄伶さん

見て見ると母に言っていた今までは
今ではちよっとほっといて
見守る応援感しているよ
旭ヶ丘中学校1年 鈴木 友菜さん

休みも良い
家族でゲームし昼寝をし
笑顔がいつもの倍だから
緑ヶ丘中学校2年 北澤 友香さん

小学校4～6年の部

おみそする いつもはぼくの母の味
今日は特別ぼくの味
松尾小学校6年 川上 蓮斗さん

家族にはありがとが言にくい
だからだまって肩をもむ
千代小学校6年 牧田 華奈さん

家族で食べる夕はんは
「今日ね」「あのね」がかくし味
竜丘小学校4年 熊谷 美空さん

休校中ふだんやらないことをする
ぼくも作った今夜のおかず
山本小学校4年 小池 匠充さん

一般の部

「ちよっとあとにして」と言いかけて
「ごめんねやっぱり今聞くとよ」と
言い直し 夕方の焦る手をとめ
今日の出来事 耳を傾け
川野 敦子さん

眠い日は
短い本ね！とお願いし
心を込めて読み聞かせ
小池 美香さん

HAGU
2020.12
vol.12

12

飯田市教育委員会がお届けする子どもをへぐむ情報誌



市内の各機関では、中学生を対象として、学校の授業や部活動以外での学習者用端末(PC)を活用した活動を提供しています。

- 1.2. プログラミング・動画編集講座 (場所: コアカレッジ)
3. ファブスタ★3Dプリンター講座 (場所: エスパード)

小中学生にオススメ 冬休み期間中の主なイベント

★ **かざこし子どもの森公園** TEL.59-8080

○通常開館時間 8:30～18:00 (施設開館時間9:00～17:00)
○1月の休館日 1(金)・2(土)・3(日)・4(月)・12(火)・18(月)・25(月)

12月	26(土)	おもちゃの修理屋さん
	26(土)・27(日)	ミニミニ門松をつくろう 200円
1月	5(火)～11(月)	お正月遊びをしよう
	5(火)	太鼓であそぼ♪ 予約制 (各回20組)
	5(火)・6(水)	新春!ラミネート書き初め
	9(土)	おもちゃの修理屋さん
	9(土)～11(月)	やきいも&火おこし体験 予約制 (各回20組 300円～)

★ **飯田市立動物園** TEL.22-0416

○通常開館時間 9:00～16:30
○1月の休園日 1(金)・2(土)・3(日)・12(火)・18(月)・25(月)

12月	26(土)・27(日)	動物たちにクリスマスプレゼント
1月		
	4(月)	モ〜っと知りたいウッシッ展 〜ウシについて知ってみよう〜
	9(土)	新年☆わくわくもちつき大会
	10(日)	新年☆ドキ×2おかしまき

★ **かわらんべ** TEL.27-6115

○通常利用時間 9:00～17:00
○1月の休館日 1(金)・2(土)・3(日)・4(月)・12(火)・18(月)・25(月)

★ **飯田美術博物館** TEL.22-8118

○施設開館時間 9:30～17:00 入館は16:30まで
○1月の休館日 1(金)・2(土)・3(日)・4(月)・12(火)・18(月)・25(月)

1/5～1/8 **プラネタリウム冬休み特別投影**
「ちびまる子ちゃん」
「ノーマン・ザ・スノーマン」

★ **飯田市中央図書館** TEL.22-0706

○通常利用時間 10:00～18:00 (木曜日は10:00～20:00)
○1月の休館日 1(金)・2(土)・3(日)・4(月)・11(月)・18(月)・22(金)・25(月)

1/31(日) **申込締切: 1/29 対象: 中高生**
「Join us いいだlib③」
作家と語ろう! 想像の楽しみ **無料 事前申込み必要**

★ **清水真砂子 講演会**
1月17(日) 13:30～15:30 **飯田市公民館**
物語のもつ力 その光と影を考える
『ゲド戦記』の翻訳者、児童文学者の講師による
読書と子どもの育ちについての講演会です。

結和



「今を大切にもらえ、感謝する言葉が増えた」「友人がいる尊さに気づき、行事は減ったが絆は深まった」「偏見や差別について学び、差別的な言葉が飛び交わなくなった」。これは、市内中学校の教職員のアンケートに書かれていた今の生徒たちの姿です。

新型コロナウイルスは私たちに大きな苦痛と困難を与えていますが、子どもたちは、たくさんのことを学んでいます。自分たちの意見を反映させた行事を実行したり、シトラスリボンプロジェクト(※)など社会貢献活動に積極的に参加をしたり、地域や保護者のみなさまとの活動を通して、周りの人のことを考え、思いやりに満ちた心で行動することの大切さを学んでいます。

これから先、飯田市でも感染が拡大していくかもしれません。それでも、感染者や医療従事者を想う暖かな雰囲気、児童生徒たちから湧き上がってくることを期待しています。力を合わせて困難を乗り越え、新しい未来を拓くことができたという経験が、子どもたちの未来の財産になるように、みんなでハグ(Hagu)くんできませんか。

※シトラスリボンプロジェクト：コロナ禍で生まれた差別や偏見をなくすために愛媛県から始まった運動



※開催時間、持ち物、予約等、詳しくは各施設へお問い合わせください。※お出かけ前には熱を測って健康をチェックしてください。※各施設では新型コロナウイルス感染症対策のため、マスク着用や手指消毒等のご協力をお願いしています。

2020年12月21日発行 飯田市教育委員会 TEL.395-8501 長野県飯田市大久保町2534 TEL.0265-22-4511

子どもたちに、未来を生き抜く力を

～1人に1台 学習者用端末 (PC)を活用した新しい学びの可能性～



学習者用端末 (PC) 活用の基本的な考え方

飯田市では学習者用端末(PC)を使い、自分の考えや想いを表現したり、伝え合ったりすることから、各学校で取り組みを始めています。例えば、「自分の考えを入力する」「仲間と相談しながら作品をつくり上げる」「絵や図を使って(操作して)説明する」「冬を探して写真を撮る」「英語の発音や音楽の独唱を録画して、発表する」…

教科や学習の内容によって活動は様々ですが、どれも自分の考えや想い、感じたことや努力の良さを表現し、伝え合おうとするものです。そうやってお互いに伝え合った(共有した)ものから、新しい価値や良さを見つけ出し、考えを深めていくことを大切にしています。シンプルに言えば、学習者用端末(PC)は「表現して伝えるための道具」ということになります。

道具は、どんどん使っていけないと上手に使えるようにはなりません。守るべきルールや注意すべきことはもちろんありますが、それらを含めて、情報や情報端末と上手に付き合えるようになることは、高度に情報化が進んだ「将来」を生きる子どもたちにとって、とても大切なことです。学校の先生方や保護者の皆さん、仲間と一緒に、学習者用端末(PC)を使った様々な『体験』を積み重ねていってほしいと考えています。



授業での活用

上久堅小学校

Jamboard(ジャムボード)を使った「共同編集・意見共有」

11月11日(水)、上久堅小学校5年生が1人1台の学習者用端末(PC)とGoogleのJamboard(ジャムボード)を使って、社会科の「私たちの生活と工業生産(自動車をつくる工業)」の学習に取り組みました。「学校の先生方はどんな自動車を作ってほしいか」事前に調査し、その結果をタイピングしたデジタルの「ふせん」を、仲間と話し合いながら画面上でグループ分けをすることを通して、「安全性」「性能」「環境への配慮」といった『自動車に対する消費者のニーズ』を、自分たちの力で見つけ出しました。アプリの「共有機能」を活用し、要素(ふせんに書かれた個人の意見)から全体像(消費者全体のニーズ)を導き出したこの学びは、学習者用端末(PC)を有効に活用した子どもたちの「思考力・判断力・表現力」を育むための一例です。



竜東中学校

伝えあい、つながりあう英語の授業

竜東中学校3年生が学習者用端末(PC)を活用し、英語を「即興で話す」活動に取り組む様子です。生徒それぞれが興味をもった、行ってみたい国の写真を見つけ、数枚端末に保存し、指さし、その場で説明を加えながら紹介合っています。特筆すべきは、知っている表現を駆使し「自分の言葉」で伝え合っていることです。3人グループで、聞き手の2人は、「Oh! It's so beautiful!」などと反応しながら、気になる建造物や食べ物の写真についてさらに質問をし、さらに情報を得ようとしています。

生徒自身が予め準備をした原稿を読んだり、暗記した言葉を再現したりするのではなく、その場で考えながら伝え合う活動として行っていた、素晴らしい実践例です。



様々な活用により学びの可能性を広げています

生徒会活動でデジタル・シチズンシップを育む

飯田東中学校では、学生会(生徒会)と先生方が協働して、「パソコン使用に関する約束」を定めました。代議員会が設置した「パソコン約束づくり特別委員会」に、各クラスから代表生徒1名が委員として参加。全校生徒へのアンケートで集めた意見をもとに、合計8回の委員会の中で話し合いを重ね、先生方の助言も受けながら原案を練り上げました。そして、代議員会の承認を経て、「パソコン使用に関する約束」が全校に示されました。各クラスから選出された委員達の頑張り、それを力強くアシストした先生方の生徒に寄せる信頼があわさって、このような「約束」が生み出されたことは、デジタル・シチズンシップ(情報社会に生きる市民としてのあり方)を豊かに育む取り組みとして、注目すべきものです。

学習者用端末(PC)の導入が広げる新たな学び

三穂小学校では、各教室で、学習者用端末(PC)との印象的な出会いの場づくり「貸与式」が行われました。また、丸山小学校では、6年生が下級生のために、学習者用端末(PC)の保護袋を作る取り組みを、家庭科の学習の一環として行いました。学習者用端末(PC)をただのモノに終わらせないための教科学習でもあり、かつ仲間への思いやりを学ぶ素晴らしい取り組みです。

また、多くの中学校でオンラインによる生徒総会や音楽会、文化祭のライブ配信が行われました。部活動の中でも、生徒が自分たちのプレーを互いに学習者用端末(PC)のビデオカメラ機能を用いて撮影・視聴し、仲間と共に思考を深めながら、練習の質を高める取り組みなどもなされています。



フェイスカバーで作成した保護袋

児童・生徒の声

「パソコン使用の約束」が配られました。約束がなかったときは、自分は授業や学習に使う時間より遊びで使う時間が多かったけれど、今日からは遊びに使う時間をゼロにしたいです。



全校に約束を伝える委員長

今日はすごく楽しみで緊張してドキドキしました！意外に重かったし、自分が考えていた物よりめっちゃいい物でびっくりしました。これは、卒業したら、次の中学生の物になるので、すごく大切に扱いたいと思いました。なんだかこれからの授業が楽しみです。

社会の地理の授業「りんごジュース工場を建てるならどこ？」という課題をやりました。今日は調べた資源や気候などの情報をパソコンに打ち込んで中間発表の案を考えました。僕たちのグループでは東アジアに建てたらいいんじゃないか、という考えになりました。今度の社会が楽しみです。

伝統文化がつながる

去る10月24日に、淡路人形協会主催の「ZOOMを使った後継者団体間の交流」が開催されました。昨年、竜峡中学校今田人形座と高陵中学校黒田人形部が南あわじ市三原中学校と交流を行った縁により、今回両校から計13名が参加しました。お互いのクラブ活動を紹介合ったり、大阪市立大学教授から人形浄瑠璃の魅力についてお聞きし、江戸時代から愛されてきた伝統文化に携わっている重みを感じたりすることができました。また、今年度は、新型コロナウイルスの影響により様々な場での公演の機会が無くなりましたが、同じような状況下でも工夫をしながら活動している全国の仲間から刺激を受け、これからの練習にも力が入ります。今回の取り組みは、全国各地の伝統文化を受け継ぐ中高生のつながりをつくる大きな一歩となりました。今後もこのつながりが広がり、人形浄瑠璃の魅力を国内や世界へ発信できることを期待します。



昨年度交流会の様子

pick up

その投稿大丈夫？

～ネット上に投稿することの影響について～

飯田市では、1人1台の学習者用端末(PC)が貸与され、より身近にネットの世界がやってきました。簡単にネット上に書き込んだり、写真や動画を投稿したりできるようになりました。でも、ちょっと待ってください。ひとたびネットに上げたものを完全に削除するのは殆ど不可能だと言うことを知っていますか？自分のパソコン上では削除したり消去したりすることはさほど難しくありません。しかし、ネットに上げたものは世界各地で閲覧され、コピーが作成されます。なので、自分で上げたものだけを削除したからと言って、完全にネット上からなくなるということはないのです。そして、小中学生のときに軽い気持ちでネットに上げた不適切な投稿が、数年後、就職のときなどに検索したら出てきて、せっかくの内定の話が白紙に戻ってしまったという話も聞きます。ネット上に書き込むときにはこのような危険が潜んでいるということを改めて認識しましょう。